

ありがとう

本校で育成すべき生徒の「資質・能力」

- (1) 勇気を持って、挑戦する力 <強く>
- (2) 主体的に判断し、より良く変容しようとする態度 <正しく>
- (3) ふるさとを愛し、社会に貢献しようとする姿勢 <役立つ>

学校だより 第 3号
 令和元年 5月30日発行
 五島市立福江中学校
 文責：校長・川端
 ☎72-6416



令和元年度、最初の栄冠は!!



「日頃、ご指導くださっている先生方、指導者、家族に感謝し、共に汗を流した仲間たちを信じ、令和元年新しい年の幕開けにふさわしい最高の大会にすべく、磨いてきた心と技と力を十分に発揮し、正々堂々と戦うことを誓います。」23日(木)に行われた「市中総体推戴式」での選手宣誓(剣道部主将・山下紗奈さん)の言葉です。



各部の選手一人一人がこの宣誓を胸に本番に臨んだ26日(日)市中総体、晴天に恵まれた各会場では、選手たちの全力のパフォーマンスが繰り広げられ、呼応するように応援団の力強い声援と歓声が響き渡りました。



結果は下表の通りです。優勝及び県大会出場を決めた競技団体や選手の皆さん、おめでとうございます。これまでの努力が実を結んだことを誇りに思い、上位大会での更なる活躍を期待したいと思います。

また、惜しくも目的を達成できなかった選手の皆さん、ここが本当のゴールではありません。1つの通過点です。勝敗よりも価値あるものを獲得した選手、悔しさに声を押し殺して涙した選手、仲間とともに健闘を讃え合った選手、それぞれの心の中に何かしら残せたものがあったと思います。これから先、この経験をどう生かすかが本当の勝負です。

そして、勝敗にかかわらず、全ての選手・応援者が確実に残せたもの、それは「感動」です。若人の一生懸命な姿、躍動する姿は、人々の心を動かします。保護者・地域の皆様におかれましても、ご支援とご声援、ありがとうございました。



話は変わりますが、推戴式の時に紹介したイチロー選手の引退会見時の言葉を再度紹介します。「後悔はあるか?」の質問に、「今日の球場での出来事、あんなものを見せられたら後悔などあろうはずがありません。人よりも頑張ってきたなどとは言えないけれど、自分なりに頑張ってきたとは、はっきり言える。これを重ねてきて、重ねることでしか後悔を生まないということはいえないんじゃないかと思います。」

「少年へのメッセージを送ってほしい」の問いに、「自分が熱中できるもの、夢中になれるものを見つけてほしい。夢中になれるものが見つければ、自分の前に立ちちはだかる壁に向かっていくことができる。それを見つけることができないと、諦めてしまう。いろんなことにトライして、自分に向くか向かないかよりも、自分が好きなものにトライしてほしい」

<中総体の結果(5/26)> (敬称略)

※詳しくは、福江中HPの五島市中体連に掲載!!

【団体・優勝】

- バスケット男子 ○バスケット女子 ○バレー女子
- 卓球女子 ○軟式野球 ○柔道女子 ○剣道女子
- ソフトテニス女子 ○バドミントン女子

【個人・優勝等一県出場】

- 柔道男子-55kg優勝(西極結人) 60kg優勝(里道裕大)
66kg優勝(谷川勇介) 90kg超優勝(大坪一輝)
1年優勝(久保田暁介-県大会なし)
- 柔道女子-48kg優勝(西極和香) 70kg優勝(中村詩夏)
70kg超優勝(山下希華)
- 卓球女子優勝(的野心咲) 2位(磯部詩椰)
- ソフトテニス男子2位(中尾 裕・竹中真琴)
- ソフトテニス女子優勝(吉田 杏・今村香紅那)
- バドミントン女子W優勝(山下柚子・荒木七海)
2位(中村朱里・城山 詩)



<陸上大会は、6月9日(日)に開催します>

※当日は、陸上競技場のリニューアルオープンセレモニーが開会式の前(8:40~)に予定されています。

心温まるご寄贈に感謝!!

しい徒新声いす器奏の物まく名
 てなのしがた。は楽おの詩経し話で今年
 、が手いあチそあ部別見と緯たがご年度
 感らにチリュのまのれ送なは。校寄付に
 謝も渡ユまー演り演にりっ。校長宛を入
 の大りーしバ奏上奏華。た初春の届
 意変まバたを等とす。え話江の届
 をあしが。見ごとは。え話江の届
 表した学連て覧は。言毎にな
 したが。校休「に言毎にな
 たた高に明寄なえ年なるのた
 いく価届け贈っないのた
 と、なけのした方も使、生
 思こりれ月いかの使、生
 ます掲物、十「らも用本や
 。を戸当にの傷りるの
 通惑生真おつま

